

日タイ共同プレス声明
第4回日タイ・ハイレベル合同委員会 (HLJC)
2018年7月18日 於 東京 (仮訳)

2018年7月18日、東京で第4回日タイ・ハイレベル合同委員会が開催された。同委員会では、菅義偉内閣官房長官とソムキット・チャトゥシーピタク副首相 (H.E. Dr. Somkid Jatusripitak, Deputy Prime Minister) が共同議長を務め、幅広い経済協力上の課題について協議を実施したところ、概要は以下のとおり。

1. 環太平洋パートナーシップ協定 (TPP11)

タイ側から、TPP11参加への意図を改めて表明し、日本側は同協定への参加における準備プロセスへの全面的支援を改めて確認した。両国は、タイの商務省貿易交渉局と日本の内閣官房TPP等政府対策本部の事務レベルでの協議を加速させる。

2. 日タイ経済連携協定 (JTEPA)

両国は、JTEPAの重要性を再確認すると共に、JTEPAが日タイ間の戦略的な経済上のパートナーシップの基礎となるよう、これをより高度な水準に引き上げるべく、JTEPAの一般的見直しプロセスを終了させる意図を改めて確認した。また、両国は、JTEPA発効後10年間の日タイの経済発展及び協力を反映した互恵的パートナーシップの構築につながるよう、JTEPAの一般的見直しを進めることで一致した。

3. 東アジア地域包括的経済連携 (RCEP)

両国は、RCEPが非常に大きな潜在力を有していることを改めて確認し、2017年1月14日のRCEP交渉の首脳による共同声明に基づき、質の高いRCEPの早期締結に向けて緊密に協力する。

4. タイランド4.0のための産業協力和東部経済回廊

両国は、「Connected Industries」のコンセプトに基づく人材育成及びスマートシティ化等、産業高度化に関する協力を継続することを再確認した。タイ側はEECの案件を追求することへの強い決意を新たにするとともに、EECでの日本の投資活動を歓迎し支援することを再度確認した。これに関し、両国は、タイの工業省と日本の経済産業省の間の「Connected Industries」に関する枠組文書の交換を歓迎した。

5. 鉄道協力

両国は、タイの鉄道案件を引き続き推進していくことへの決意を表明した。日本側は、タイの鉄道産業支援のため人材育成分野で協力することをコミットした。

6. エーヤワディ・チャオプラヤ・メコン経済協力戦略会議 (ACMECS) マスタープランと日メコン協力

日本側は、本年6月の第8回ACMECSサミットにおいて承認されたACMECSマスタープランを歓迎した。タイ側は、特に東西経済回廊及び南部経済回廊に焦点を当てている本マスタープラン実施の初期段階において、本マスタープランを補完する日メコン協力を増進させるため、タイと協力することへの日本側の深い関心を歓迎した。これに関し、両国はメコン地域における一層強化された連結性と持続的な開発の促進に向けて協力すべく努力する。

7. 人材育成(HRD)

日本側は、日タイ産業人材育成協力イニシアティブを踏まえ、特にターゲット産業でのエンジニアの養成について、人材育成分野においてタイ側と協力することを決意した。両国は、タイで最初の工学・技術のための日本式の高等専門学校 (KOSEN) の設立に着実に取り組んでいくことへの決意を再確認した。

8. 地域間の協力

両国は、日本とタイの地域間の協力進展を歓迎し、具体的で相互に利益をもたらす結果を達成し得る、潜在的な協力的分野について更に協議することを期待する。両国は、三重県とタイ投資委員会との間の同様の協力を促進するための覚書の署名を歓迎した。